鎌倉支援学校だより

第 9 号 令和 6 年 1 月12日

令和6年になりました。今年の初出勤の日に食堂前の梅の花が咲き始めていて、 うれしい気持ちになりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

コロナが5類になって初めてのお正月。久しぶりに田舎に戻った方もいることと思います。今年は元旦には能登半島地震、2日は飛行機事故… 災害や事故は防ぐことができないこともあります。でも、万が一のときにどのように対応するか、普段からの訓練や初期対応の大切さを痛感した1年の始まりになりました。

体育館の校歌板が変わりました!!

鎌フェスでお披露目された校歌板! 2 学期終業式では壁に掲示されました!

今年度は学校名が鎌倉支援学校に変更された年です。 校名変更に伴い、いろいろな校名板が変更になりました。 体育館の校歌板は、今年度の小学部、中学部、高等部の 卒業生が協力して銅板レリーフで作成しました。 みんなで力を合わせて作った手づくりです。



総監督は高Bの橋本久美子先生 文字は高Bの天野先生 額縁は進路の小倉先生と 技能員の森さんの手作りです

ちょこっと裏話

銅板の裏側には、自分の名前や日付、作成した日の給食のメニューを書いている子も! 壁につけられるときに「これが外されるのはいつかなー?」「新校舎になったときかな」って声が(^^)

学校名変更に伴い、歌詞(学校名)も変わることから、作詞作曲者の梅野さんに連絡をしました。 梅野さんは卒業生の保護者です。新校歌のCDを送ると「卒業生である息子と一緒に、大変懐かしく当 時を思い出しながら聴かせていただきました。」とうれしいお手紙をいただきました。

~本の紹介~

年末年始休みに、学校の本を 2 冊借りていき、読みました。

「自閉症の僕の七転び八起き」(東田直樹 著)です。作者の紹介では、

重度の自閉症で会話ができない、小学校は普通学級で学習し、小学校高学年で特別支援学校に転校、特別支援学校の中学部を卒業後は通信の高校に行ったという経歴の作者です。作者の考えていることの多くに共感を持った本でした。「僕は、普通の学校と特別支援学校の両方に通ってみて、それぞれいいところがあることがわかりました。けれども、それは障害のある子だけ別に教育する理由にはならないと思います。特別支援学校でやれることが、どうして普通の学校でできないのか不思議でなりません。同じ勉強をすることは無理かもしれませんが、一緒の学校で学ぶことはできると思います。」「みんなの未来と僕たちの未来が、どうか同じ場所にありますように。」とありました。

本当の意味での共生社会の実現、インクルーシブってどんなことだろう?と改めて考えされられた 年始でした。理想と夢は大きくもっていきたいです。 (教頭 大津)







12月20日(水)第2回学部間交流会が行われました。本校の4つの学部が7グループに分かれ、グループごとに交流をしました。クイズ大会では、答えを相談したり、顔を見合わせたりしながら、互いを知る機会とすることができました。教員が、お互いの好きなことを橋渡しして伝え、会話が盛り上がる場面もありました。

日ごろは、それぞれ違う目標を持って学んでいるみなさんが、鎌フェスや学部間交流会を通して、自分を知り、相手を知ろうとするよいきっかけになったのではないでしょうか。

次回はどんな内容で交流するか、楽しみにしていてください。







1月の各学部の校外行事予定

中学部	1月 19 日(金) 3年 卒業遠足「ボウリング王国スポルト横須賀店 他」
	1月 30 日(火) 2年 遠足「イチゴス横浜」
高等部 A 部門	1月 23 日(火) 校外学習「地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)」
	1月 26 日(金) 校外学習「湘南とうきゅう」
高等部分教室	1月30日(火)3年 進路校外学習「鎌倉市二千人雇用センター」